

【記載例】

道 路 相 談 カ ー ド			
		令和 年 月 日	
次のとおり、相談します。		※太枠内は相談者をご記入ください	
相談者	会社名	※法人の場合、代表者名まで記載してください	
	住所・氏名	※法人の場合、担当者氏名を記載してください	
	電話番号	※日中連絡のとれる番号を記載してください	
相談場所(地番)	甲府市	※建築計画の場所を記載してください	
調査の目的	☐ 確認申請事前調査 ☐ 不動産売買の調査 ☐ 不動産の評価 ☐ その他(※いずれかの項目にチェックを入れてください		
	☐ 建築基準法上の道路種別判定 ☐ 道路後退の方法 ☐ 接道の確認 ※いずれかの項目にチェックを入れてください (相談内容を具体的に記入すること。又、調査した内容など判断の参考となるものを記入すること。)		
相談内容			
添付資料	☐ 案内図(住宅地図等) ※1 ☐ 公図の写し ※1 ☐ 現況図(現場の実測図等) ※1、2 ☐ 現況写真 ☐ 登記事項証明書の写し ☐ 建築計画図(配置図) ☐ 道路台帳 ☐ 地籍測量図		
	※1 案内図、公図の写し、現況図は必須です。 ※2 現況図が用意できない場合は、公図の写し及び現況写真に道路幅員を記載ください。 ※3 相談内容により、係員が追加の資料を依頼することがあります ※4 提出された書類は返却いたしません		
	担当者記入欄 ※記載しないでください		
	担当者: 回答		

(例)

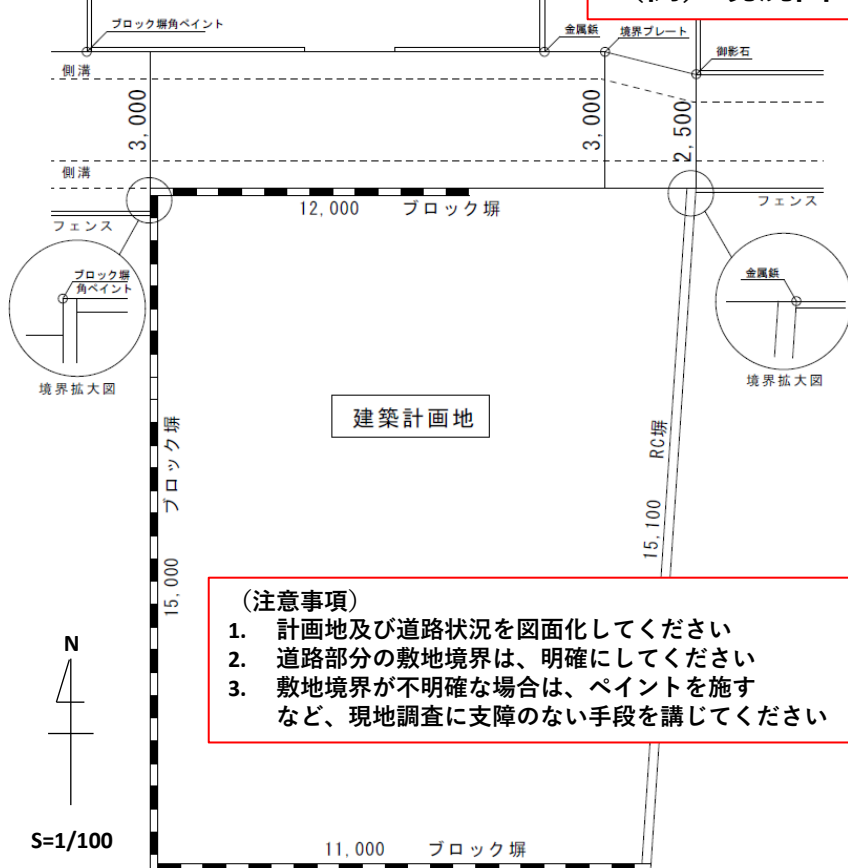
- ・ 相談場所南側の道路について相談したい。当該道路は法第42条第2項道路となっているが、道路中心線は、○点と△点の中心及び□点と▽点の中心を結んだ線と考えてよろしいか。また、建築計画地の隣地（西側敷地）はセットバック済であるかを確認したい。
- ・ 相談場所北側の道路について相談したい。建築計画地と道路（道筆）の間に個人所有の筆があるが、当該敷地は建築基準法の道路に接道しているかを確認したい。

- 方位、目標となる建物及び付近の状況がわかるものを記入
- 相談地を着色

- 相談地には、所有者氏名・地目を記入し、敷地形状を着色

- ・ 相談場所の全景
- ・ 道路部分の境界が確認できるもの
- ・ 道路部分の現況がわかるもの
- ・ その他、相談者が必要と判断したもの

(例) 現況図



- (注意事項)
1. 計画地及び道路状況を図面化してください
 2. 道路部分の敷地境界は、明確にしてください
 3. 敷地境界が不明確な場合は、ペイントを施すなど、現地調査に支障のない手段を講じてください